



奈良県・五條市

防災講演会

卒業おめでとう

講演

第Ⅰ部



「災害から命を守るには」

～東日本大震災の事例を踏まえて～

河村 仁氏 (元陸上自衛隊中部方面総監)

第Ⅱ部



「阪神・淡路大震災における教訓」

～大規模災害時のヘリコプターの必要性～

早川 喜代司氏 (元陸上自衛隊第3師団飛行隊長)

日時 平成28年 1月16日 (土)

13:30～15:40 (12:00開場)

場所 五條市市民会館 ホール
(五條市本町3丁目1-13)

入場
無料

アクセス

- 電車…JR和歌山線「五条」駅下車 西へ徒歩約15分
- ※車でお越しの際は、中央体育館南側駐車場をご利用ください。



■主催 奈良県・五條市

奈良県・五條市 防災講演会

平成28年1月16日（土） 13:30～15:40

五條市市民会館 ホール

開催にあたって

東日本大震災や紀伊半島大水害をはじめ、全国各地の豪雨災害や土砂災害などにおいて、自衛隊による救出活動や生活支援などの様々な災害派遣活動が行われ、その迅速さ・的確さに対して、被災地域の方々はもとより、国民全体が高い評価をしています。

また今後、南海トラフ巨大地震などの大規模災害の発生も懸念されています。このような大規模災害などの発生に際して、県民の生命と財産を守るためには、自衛隊による災害派遣活動はますます重要になっており、奈良県では防災訓練等を通じて自衛隊との連携を強化するとともに、全国で唯一、陸上自衛隊駐屯地がない県として誘致活動も行っているところです。

この防災講演会は陸上自衛隊の災害派遣活動をテーマとしており、県民の皆さまに自衛隊の活動への理解を深めていただく契機となれば幸いです。

奈良県知事 荒井 正吾

紀伊半島大水害から4年4月余りが経ち、当時は自衛隊、警察、消防、消防団はじめ県や市民の多くの方々のご支援・ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。

特に、自衛隊においては41日間の長期にわたり活動していただき、その能力の高さに感銘を受けました。現在、奈良県と連携し、議会のご協力と市民のご理解を得ながら陸上自衛隊駐屯地の誘致に取り組んでおります。

本日の講師は、東日本大震災・阪神淡路大震災において、陸上自衛隊の災害派遣部隊長としてご活躍されております。

皆様方には、この防災講演会により、自衛隊の災害派遣活動を更にご理解いただき、また日常の場における防災に対する意識の向上になれば幸いです。

五條市長 太田 好紀

プログラム ※予告なく変更する場合があります

- 13:30 開会あいさつ
奈良県副知事 奥田 喜則
五條市長 太田 好紀
- 13:40 講演
・第1部
「災害から命を守るには」
-東日本大震災の事例を踏まえて-
河村 仁氏
- 14:40 ・第2部
「阪神・淡路大震災における教訓」
-大規模災害時のヘリコプターの必要性-
早川 喜代司氏
- 15:40 閉会

講師プロフィール

河村 仁氏

(元陸上自衛隊中部方面総監)

防衛大学校本科卒業(22期生)

米国スタンフォード大学大学院修了(航空工学修士)

米国陸軍戦略大学卒業(国際協力課程)

平成18年 自衛隊大阪地方協力本部長

平成20年 防衛研究所 副所長

平成21年 第10師団長

平成23年 陸上自衛隊 幹部学校長

平成24年 中部方面総監

平成25年 退官

三井住友海上火災保険(株)顧問

第10師団長時代に、東日本大震災での災害派遣活動に従事

早川 喜代司氏

(元陸上自衛隊第3師団飛行隊長)

陸上自衛隊少年工科学校卒業(16期生)

平成6年～9年 第3師団飛行隊長

平成14年 第4対戦車ヘリコプター隊長

平成17年 中部方面航空隊 副隊長

平成20年 航空学校 企画室長

平成22年 退官

京都府 防災・原子力安全課 訓練担当課長

(株)セーフティネット 教育担当

(公社)大阪府隊友会会長

第3師団飛行隊長時代に、阪神・淡路大震災での災害派遣活動に従事

●お問い合わせ(土・日・祝日を除く8:30～17:00)

奈良県庁 防災統括室 0742-27-8425
(直通)

五條市役所 危機管理課 0747-22-4001
(内線360)